

(社)日本建材・住宅設備産業協会 新会長就任ご挨拶



会長 藤本勝司

ただいまご紹介いただきました藤本でございます。

本日は、公務ご多用のところ、経済産業省の後藤大臣官房審議役、国土交通省住宅局の橋本住宅生産課長はじめ、両省幹部の方々、並びに当協会に関係の深い諸団体、報道関係など多くの方々にご参会いただき、まことに有難うございます。

また、協会会員の皆様には先ほどの総会に引き続きご出席いただき有難うございます。日頃から、協会運営にご尽力賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

私は、先ほど行われました理事会で、会長のご指名を賜り就任いたしました。今、その責任の重さをひしひしと感じているところでございます。

前任の木瀬会長には2年間にわたり、当協会の運営にあたって先頭に立って取り組まれてこられました。副会長をご退任のYKK AP 吉田社長、太平洋セメント 鮫島会長も高い知見をもって我々をご指導くださいました。改革の内容については、とくに財務基盤の安定化、情報化における「カタラボ」の事業化や業界の下請取引ガイドラインの見直し、その他多岐にわたって顕著な実績をあげられたと思います。有難うございました。

このような実績をあげられた会長の後をお引き受けするには大変荷が重いのですが、新たに副会長として就任されたトステム 潮田会長はじめ、副会長の皆様と協力し、また関係各位のご支援を賜りながら、協会発展のために微力を尽くしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、経済状況は一時の最悪期を脱しつつあり、回復基調にありますが、景気を下押しするリスクも存在し、特に建材・住宅設備業界を取り巻く環境は、新設住宅着工件数の激しい落ち込みや公共需要の低迷といったマイナス要因が影響し、まだまだ厳しい状況が続きそうです。

こうしたなか当協会では、今年度から委員会組織を見直し、従来7委員会から6委員会体制として、集中的・重点的な事業運営を行うこととします。

その中で、私は5つの重点テーマを掲げ、積極的に取り組んでまいります。

第一に、財政基盤の安定化についてであります。後に触れます公益法人制度改革に伴う新法人への移行を見据えた場合、本テーマはなお課題として残るものです。これまでも継続して進め、順調に推移してきておりますが、さらに事業の強化や経費の見直し等に努力してまいります。

第二に、国の低炭素社会実現にむけては、住宅や建築物の省エネ対策は喫緊の課題です。当協会では、省エネルギー対策について、具体的に浴室や浴槽の省エネ性能を判断できる評価基準と表示規格の制定、窓の断熱性能を適切に計算・評価し、国際標準とする事業、マンションなど中

高層住宅の省エネリフォームの意識向上といった取り組みを行ってまいります。また、住宅版エコポイント制度については、業界各社の対応も活発に進められているようですし、直近の申請数も急増しております。当協会といたしましても、住宅の省エネ化と業界活性化の観点からも同制度の普及を積極的に支援してまいりたいと考えております。

第三に、昨年 10 月に正式公開しました建材・住宅設備の情報提供サービス「カタラボ」です。おかげさまで、ご参加いただいたメーカーや掲載カタログ数は順調に増えております。住宅エコポイントの開始に合わせ、各社の関連カタログを掲載する特集コーナーを設けるなど、情報の質と量を充実させたこともあり、アクセス数は 900 万ページビューを超えるなど大変ご好評いただいております。引き続き、アクセスの増加や活用領域の拡大を推進いたしますが、今年度は、特に、IT 投資が遅れがちな中小メーカーの参加促進に取り組んでまいります。

第四に、下請取引適正化のフォローアップですが、平成 20 年 3 月に経済産業省が発表した「建材・住宅設備産業取引ガイドライン」の見直しについて協力してまいりました。厳しい環境下にあっても適正な取引が行われるよう、業界内への周知徹底に協力してまいります。

第五に、安全・安心への取り組みであります。住宅に係る建材・設備機器のメーカー・団体を網羅的に擁する当協会の特長を活かし、VOC 表示制度などに引き続き取り組んでまいります。

なお、公益法人制度改革については、本日の総会において一般社団法人への移行を目指すこととなりました。平成 23 年度に新法人への移行申請を行うべく、1 年かけてさまざまな準備を進めてまいります。

協会運営にあたっては、何よりも当協会が会員企業・団体にとって魅力ある場であるように、関係各位のご意見に耳を傾けていく必要があると考えております。

新たな体制のもとでこれからの業界あるいは協会活動はどうあるべきか、その役割を認識しつつ、協会のプレゼンス向上に一層取り組んでまいります。

最後になりますが、皆様方の倍旧のご支援・ご協力をお願い申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(2010 年 6 月 8 日懇親会席上)